

第63回 南信柔道大会開催要項

1. 主催 辰野町・辰野町教育委員会
2. 主管 辰野町柔道協会
3. 後援 信濃毎日新聞社・南信柔道連盟・南信高等学校体育連盟・南信中学校体育連盟
辰野町体育協会・エルシーブイ株式会社・辰野ライオンズクラブ
辰野ロータリークラブ・(公社)長野県柔道整復師会
4. 期日 平成28年6月12日(日)
5. 時間 ・受付 午前7時40分～8時20分 ・開会式 午前9時00分
・審判会議 午前8時30分(町民体育館2階会議室)
6. 会場 辰野町民体育館(荒神山スポーツ公園内)
7. 試合規定 国際柔道審判規定(IJFルール)、少年規定及び申し合わせ事項による
☆団体戦のみ3位決定戦を行う。
8. 競技種目

[団体の部] 各団体とも出場は3チームまでとする。(1チーム 選手3名 補欠1名 計4名)

- (1) 小学生低学年団体(4年生以下・階級の区別なし)
- (2) 小学生高学年団体(5・6年生・階級の区別なし)
- (3) 中学生男子団体(学年・階級・段位の区別なし)
- (4) 中学生女子団体(学年・階級・段位の区別なし)
- (5) 高校生男子団体(学年・階級・段位の区別なし)
- (6) 一般男子団体(年齢・階級・段位の区別なし)
- (7) 高校・一般女子団体(年齢・階級・段位の区別なし)

[個人の部] 小学生・中学生及び高校一般女子は 学年(年齢)・階級の区別がありません。

- (8) 小学生男子個人(学年・階級の区別なし)
- (9) 小学生女子個人(学年・階級の区別なし)
- (10) 中学生男子個人(学年・階級の区別なし)
- (11) 中学生女子個人(学年・階級の区別なし)
- (12) 高校・一般男子個人(段位別:段外・初段・二段・参段以上)
- (13) 高校・一般女子個人(年齢・階級・段位の区別なし)

9. 参加資格 南信地区に在住・在学・在勤するもの
10. 申し込み 5月6日(金)までに下記URLの申し込みフォームにて申し込む。
<http://www.town.tatsuno.nagano.jp/nanshin-judo-taikai.html>

注1) 参加料 団体戦1チーム 1,000円

(当日受付にて徴収・つり銭のないようにお願いします。)

注2) 参加料 個人戦参加者一人につき300円

(登録者については、出欠の有無を問わず申込書により徴収します。)

注3) 道場と学校又は職場との重複登録が無いように申し込むこと。

注4) 抽選等、準備がありますので申し込み締切り以降は受け付けません。

電話での申し込みも受け付けません。

注5) インターネット環境がない場合は下記へご連絡ください。別途申込書を郵送致します。

11. 連絡先 〒399-0493 上伊那郡辰野町中央1番地 辰野町教育委員会内
南信柔道大会事務局宛 TEL 0266-41-1681 FAX 0266-41-3379
E-mail syakai@town.tatsuno.nagano.jp

12. 抽 選 主催者抽選とする。

13. その他

(1) 各チーム責任者は、下記に示すメンバー表を作り大会当日受付へ提出してください。

記入例（模造紙を横に使用してください。）

- 注 ・氏名等は縦書きのこと。
・用紙の縦線は記入しないこと。
・字体は楷書で太字とする。
・同一姓のときは名の一字を（ ）して姓の下に記入のこと。
・名前には必ずフリガナをつけること。
・出場選手の人数が足りない場合は後詰めにする。

(規格厳守)

(109cm)

	先鋒		中堅		大将	
チ ー ム 名	中 村	ナ カ ム ラ	古 賀	コ ガ	中 村	ナ カ ム ラ
競技種目	(一)				(二)	

(20cm)

- (2) 個人戦申し込み者にて当日欠席者がありますと大会運営に支障をきたしますので欠席しないようお願いします。なお、エントリー提出者以外の出場は認められません。
- (3) 大会中は競技進行を妨げる行為を慎んでください。
- (4) 一般車、大型バス、マイクロバスの駐車場はプールの駐車場を利用してください。
- (5) メンバー表の左下に競技種目を必ず楷書にて記入してください。

★ 大会中の事故

大会中の事故に関しては、試合中のものに限り応急処置のみとし、それ以上は責任を負いません。参加される選手は必ずスポーツ保険等に加入すること。

★ 靴等の持参

各人必ず下履きを入れる袋等を持参し、各自で責任をもって所持してください。
靴等は絶対に玄関に置かないこと。(保護者・子供に周知のこと)

大会参加における注意事項

1) 脳震盪（のうしんとう）の対応について

- ①大会 1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること)
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。

2) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について

発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会へ出場することが出来ない場合がある。

3) 指導者の皆様へのお願い

選手本人の出場意思を確認し健康に十分な配慮を行い保護者並びに団体の承諾を得ること。大会当日は健康観察をしっかりと行い、発熱等の症状がある場合は参加させないようにしてください。